

## 知床硫黄山

### ○ 火山活動評価：静穏な状況

火山活動は静穏に経過しました。

平成 18 年は火山情報の発表はありませんでした。

### ○ 概況

#### ・火口や噴気の状況（図 1～2）

10 月 5 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測では、山頂部は雲に覆われ観測できませんでしたが、北西側中腹の爆裂火口からは弱い白色の噴気が認められ、前回（2003 年 6 月 6 日）と比べて特に変化はありませんでした。



図 1※ 知床硫黄山 北西側中腹の爆裂火口

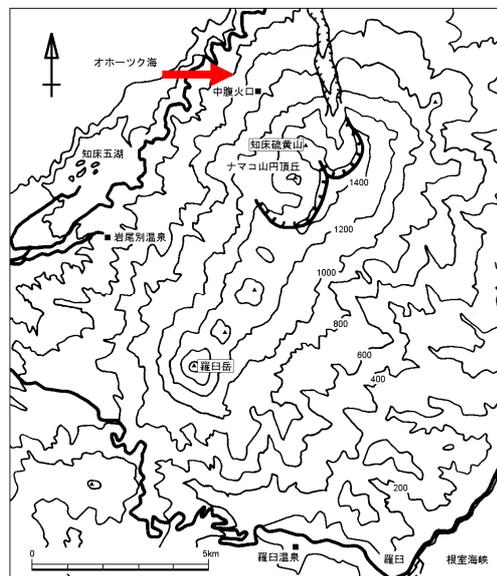


図 2 知床硫黄山 火口周辺図

#### 参考：

知床硫黄山は山頂部と北西側中腹に爆裂火口を持つ火山で、記録に残っている 1857～1858、1876、1889～1890 年および 1935～1936 年の噴火は、いずれも北西側中腹の爆裂火口で起こっています。特に最近 2 回は、火山灰の他に溶融硫黄や熱湯が噴出しています。1992 年に実施した機動観測によると、北西側中腹の爆裂火口では、数か所で白色の噴気が観測されたほか、温泉の湧出や沸点程度の地熱が認められていました。

※ 資料は気象庁のほか、北海道開発局のデータも使用しています。

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 17 総複、第 650 号）。